

閉会挨拶

日本医師会副会長

中川 俊男



本日は長時間にわたりまして、講師の先生方、会場の皆様、大変熱心にご議論、ご参加いただきまして、本当にありがとうございます。

日本医師会は、国民にとって安心・安全な医療を守ることが責務です。福島原発災害の被災者の方々の健康を守ることができなければ、その責務を果たすことはできません。そのことを本日再認識し、身の引き締まる思いです。日本学術会議は、科学者の英知を結集した組織です。そして同時に、科学の持つ危険性について深く分析・考察もされています。本シンポジウムを第一歩として、日本医師会

と日本学術会議がますます連携を深め、問題の解決に当たってまいりたいと思っています。

本日の多くのご議論、ご発言によって、本日のテーマを国民全員が自分自身の問題として、たゆむことなくその問題の重さを問い続けていかなければならないのだと痛感できたのではないのでしょうか。おかげさまで大変有意義なシンポジウムになりました。講師の皆様、会場の皆様、改めてお礼を申し上げます。

これもちまして、日本医師会総合政策研究機構・日本学術会議の共催シンポジウムを終わらせていただきます。どうもありがとうございました。